

# 子育て支援だより

## 「子育てワンポイントアドバイス」

### 第159回 『発達にアンバランスがある子どもの理解』

みえ発達障がい支援システムアドバイザー 竹村 マミ

日本人は、おもてなしの心があり、相手の気持ちをくんでコミュニケーションをとろうとする素晴らしい国だと思います。しかし、本音とたてまえや曖昧な表現の仕方をするところが、自閉症スペクトラムの人は理解しにくいところなので、特に日本は大変かもしれません。

思ったままのことを言えば「自己中心的」とか「空気が読めない」と言われます。また、恐竜のことが詳しい認知に特異性のある子に「この恐竜、何ていう名前か知ってる？」と聞いたら「〇〇だよ。△△よりも何千年も前に生きていて、肉食なんだよ・・・」と聞いていないことまで喋ります。そうすると、「知識をひけらかしている」「自慢している」と言われてしまうのです。本人は、頭の中にあることを全て喋っているだけでそんなつもりがなく、そういう特徴なのです。そこが理解されないことで、小学校で中傷されて傷つき不登校やひきこもりになってしまうケースを、保護者の方からいくつも実体験の中で聞いています。

発達にアンバランスさがある子どもは、人への関心や認知、感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）、意味理解の何れかに特異性が見られ、生まれつき脳の発達が通常と違っていると言われています。だから、本質的に変えることはできません。

では、何が変わると良いのでしょうか。それは周囲が、その子のことを理解して見方、かかわり方が変わるのだと思います。



## 朝日町障がい児リハビリテーション費用助成について

朝日町では、障がい児が言語や作業・理学療法などのリハビリテーションを受けた場合に月1,000円を上限に助成を行っております。

平成30年4月1日から平成31年3月31日までに実施したリハビリテーションの領収書を添えて、4月10日（水）までに子育て健康課へ申請してください。

なお、朝日町福祉医療（こども医療費）助成の対象となるリハビリテーションは対象外です。

問い合わせ先 子育て健康課 TEL 377-5652

